

兵庫県姫路市におけるクロカナブン, キョウトアオハナムグリ, チャイロスズメバチの記録

榮藤巨輝¹⁾

はじめに

筆者は2022年～2023年にかけて、姫路市夢前町神種にてルッキング及びバナナトラップを仕掛けて調査を行った。その結果、姫路市内では正式な記録がされていないと思われるクロカナブン、キョウトアオハナムグリ、チャイロスズメバチを採集したので報告をする。

調査地の環境は、周囲が針葉樹の植林に囲まれた比較的小規模な雑木林で、主にアベマキやコナラで構成されている。また、シカによる食害の影響で植生が単純化し、マダニやヤマビルも多い。

各種解説

クロカナブン *Rhomborhina polita* Waterhouse, 1875

<データ> 多数 2023. VIII. 10-19; 多数 2023. VIII. 19-26 いずれも筆者採集

バナナトラップでカナブんに混じって多数の個体が得られた。また、調査地には樹液の出ているコナラやアベマキは複数確認したが、本種が樹液に飛来している姿を見かけることはなかった。

本種は晩夏に活動し、樹液や熟果に集まることが知られている。県下ではこれまでに川西市、豊岡市、丹波市、宍粟市で記録されている(高橋, 1984; 宇野, 2020)。

キョウトアオハナムグリ *Protaetia lenzi* (Harold, 1878)

<データ> 1♂ 2022. VII. 23 筆者採集

コナラの高所の樹液に飛来していたハナムグリを確認し、捕虫網で落とすところ本種であった。

本種は西日本に生息するハナムグリで、兵庫県内には多産地も存在するが、分布が局所的である。県下では猪名川町、神戸市、明石市、洲本市で記録されている(高橋, 1978)。

チャイロスズメバチ *Vespa dybowskii* André, 1884

<データ> 2exs. 2023. VII. 30; 2exs. 2023. VIII. 10

いずれも筆者採集

コナラやアベマキの樹液に飛来していたほか、バナナトラップでも得られた。

本種はキイロスズメバチやモンスズメバチに一次社会寄生を行うことが知られている。北方系の種であるが、近年西日本で発見される例が増加しているようである(加藤ほか, 2009; 加藤・末宗, 2016)。県下での正式な記録としては、伊丹市(井上, 2018)での分布が報告されている。また、筆者は夢前町神種以外で、以下に示した姫路市内2か所でも本種を採集していることから、市内には広く生息しているものと思われる。

<データ> 1exs. 2021. IX. 4 姫路市 増位山 筆者採集; 2exs. 2023. VIII. 26 姫路市 打越 筆者採集

引用文献

井上治彦 (2018) 伊丹市のハチ. 伊丹市昆虫館研究報告, 6: 23-35

宇野宏樹 (2020) 兵庫県丹波市におけるクロカナブンの採集例. きべりはむし 43(1):55

加藤学・片岡博行・岩井貴志・瀬島翔馬・奥島雄一 (2009) 岡山県でのチャイロスズメバチの分布と生態記録—西日本の分布情報を含めて—. 倉敷市立自然史博物館研究報告, 24: 35-42.

加藤学・末宗安之 (2016) 美作市でのチャイロスズメバチの営巣記録. しぜんくらしき, 99:6-8.

高橋寿郎 (1978) キョウトアオハナムグリの分布について. 兵庫生物, 7 (4): 194-197

高橋寿郎 (1984). 兵庫県のハナムグリ. てんとうむし, 9: 1-17

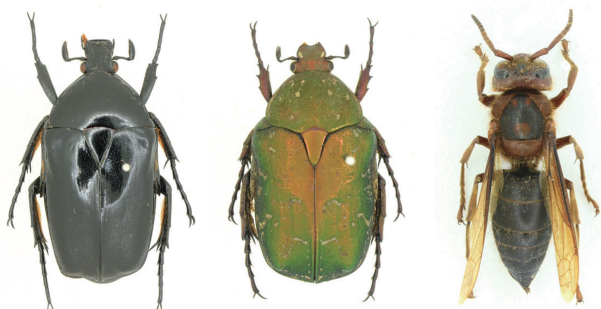


図1. クロカナブン 図2. キョウトアオハナムグリ 図3. チャイロスズメバチ

¹⁾ Koki ETO 甲南大学 自然科学研究科